



温泉

ゆかたでぶらり 城崎温泉の特質を活かす

城崎温泉の中心を流れる大谿川おたに沿いに、揺れる柳と軒を連ねる和風旅館。ゆかたに石けんかごを持ち、カラコロと下駄をならして外湯めぐり。昔から変わらぬ城崎温泉の風情です。

この城崎を愛する若手有志たちが声を掛け合い、平成7年に発足し

たのが「城崎文化フェスタ実行委員会」。平成6年に開催された「但馬・理想の都の祭典」の時、城崎のイベントとして好評を得た「城崎ゆかた祭り」をずっと続けていきたいと自分たちで企画し、「ゆかたの似合うまち城崎温泉」をキャッチフレーズにゆかたを定着することができました。

6月24日(木)におこなわれる「城崎ゆかた祭り」は、プロのモデルによる本格的ゆかたのファッションショー。ゆかた姿のモデルが城崎温泉に繰り出し、写真撮影会もおこなわれ、後日写真コンテストも開催予定。今年の新柄・新素材のゆかたをしつかりチェック。特にあざやかな色がまぶしいプリント花柄が人気を集めそう。城崎温泉をイメージしたオリジナ

ルゆかたも登場する予定です。また、3年目を迎える「ゆかたのレンタル」も6月1日から始まります。これは、城崎温泉に来ていただいたお客様に旅館のゆかただけでなく、お気に入りのゆかたを自由に着て、そぞろ歩いてもらいたいと企画されたシステム。城崎駅前の河本商店へ行き、好きなゆかたを選べば、すぐそこで着付けてもらえ、下駄などの小物も全部揃っています。若い女性に大人気。今年の新柄50着が追加され、第2号店が7月1日オープン予定で、ますます充実。オリジナルのゆかたやうちわもつくりました。

8月には城崎町文芸館で「ゆかたファッション美術館」が開催されます。これまでの2年間は城崎温泉の旅館オリジナルゆかたの展示をしてきましたが、今年は趣向を変え、新作ゆかたの展示・即売をおこないます。「私たちは5年先、10年先の城崎

地

10年先を考えた
新しい試みを展開中
温泉地が変わっていく

を考え企画しています。企画を軌道に乗せ定着すると、それぞれのお店に頼み渡していく、それが仕事だと思っています。もちろん、イベントなどで続けていくものもありますが、城崎温泉でゆつくり過ごしてもらえような魅力づくりをしていきたい。城崎でも問題になるのが、後継者のこと。若い私たちが考えていかないとダメだと思っています」

「そこで、今考えているのが、芸術家の人々を城崎に誘致し、ここで創作活動に励んでもらうこと。デジタル時代の現在、東京に住む必要性はなくなりました。温泉、円山川、カニ：四季折々を楽しめる城崎温泉で作品を生み出してほしい。そうすることによって、まわりの人々も影響を受け新しい発想が生まれるかも」

現在、城崎温泉には「城崎文化フェスタ実行委員会」「城崎町商工会青年部」「城崎温泉旅館経営研究会(通称：二世会)」「城崎湯けむり太鼓」

の4つの組織団体があります。それぞれの活動をしてきましたが、スタッフがそろわないといった弊害をなくすために、平成10年春K's(ケーズ)連絡協議会が発足しました。4つの団体をとりまとめ、相互の事業をバックアップするのが目的。これによって、活動にも幅がで、ムダがなくなり、窓口も一つでわかりやすく、連絡もスムーズになりました。また、観光産業にたずさわっていない会社員や主婦も参加し、城崎に住む人たちがみんなで考える会となりました。この動きも城崎のまちをもっとよくしたいと考える若い人たちの熱意が伝わったもの。今年には城崎温泉観光協会のイベントをK's(ケーズ)が運営していきます。

伝統ある城崎温泉の町並みを守りつつ、新しい企画を考え実行し続けるパワーや感性は、若い世代へと受け継がれ、城崎温泉を訪れる若い人々に受け入れられています。

の

旅館の名湯を 愉しむ七福神・湯めぐり

98度の熱泉がわき出る荒湯を中心に広がる湯村温泉。5つの旅館の内湯・露天風呂に公営の入浴場を築きしめるという新しいプラン「七福神・湯めぐり」を平成10年から始め、好評を得ています。協力しているのは井つつや、朝野家、とみや、三好屋グランドホテル、御やどゆもと、リフレッシュパークゆむら、湯村温泉会館 薬師湯の7カ所。

まず、湯めぐり札（シール付き）を手に入れます。この札はシール8枚3400円、4枚1800円で湯村温泉全旅館にて販売中。それぞれの温泉を七福神になぞらえ、ひと湯ごとに七福神人形がシールと交換でもらえます。七湯めぐると幸運を招く七福神が勢揃い。これは、湯村温泉旅館料飲組合「七福神湯めぐり事務局」が企画し、湯村温泉の新たなイメージや魅力を定着させたいと

頑張っています。新しく七福神まじゅうも登場しました。

また、平成10年12月に湯村温泉まちづくり協議会が発足し、活気ある湯村温泉の復活と散策して楽しいまちづくりを実現するための提言と企画立案を行い、湯村温泉の発展と区民生活の向上に寄与することを目的としています。荒湯整備部、環境整備部、文化交流部の3つの部会があり、それぞれに活動を行っています。

今年荒湯を中心とした付近の整備をやっています。昭和30〜40年代のなつかしい温泉地をコンセプトに、さまざまなことを企画中。涼み台を通りや路地に出し、誰でも気軽に座ってもらい、ゆかたにうちわで夕涼みしてもらったり、ビールとつまみで一息入れてもらったり、将棋や碁を楽しんだり、春來川に釣り糸をたらしたりと、のんびりとした時を過ごしてもらおうと思っています。

ます。駄菓子屋やだんご屋などの店を出すなど、セカセカした現代代からこそ、一昔前のほっとするような雰囲気醸し出し、くつろいでほしいと考えています。大型旅館やホテルに閉じこもったままの旅ではなく、温泉街を歩いてもらえるような工夫をどんどんしていきます。

また、町木もみじ、町花さくらを毎年100本ずつ植林し、桜や紅葉の名所をつくろうと計画。先の長い話ですが、10年後には素晴らしい

らしい名所になっていることでしょう。通りに名称を付けて、もっと親しみやすくしたり、湯村中心街のライティングを企画したりと、いろいろなアイデアを出し合っています。

鳥取駅と湯村温泉を結ぶバスも昨年引き続き、運行されること決定。鳥取とのアクセスも定着しつつあります。

数ある温泉地の中で、湯村温泉の特徴を明確にし、もっとも魅力を引き出したいと試行錯誤の日です。



7カ所全部の湯をめぐるとかわいい七福神が揃います。温泉を楽しみながら集めてください。



井つつや「ハープ湯・松風呂」



朝野家「庭園風露天風呂」



御やどゆもと「露天風呂」



とみや「展望大露天風呂」



リフレッシュパークゆむら「露天風呂」



三好屋グランドホテル「森林露天風呂」



湯村温泉会館 薬師湯「健康の湯」

若

い

元気印
のまちたち 7
The town is in high spirits

力

だ

!

●K'S (ケーズ) 連絡協議会

問い合わせ
事務局/城崎温泉観光協会内 TEL0796 (36) 3663
〒669-6101 兵庫県城崎郡城崎町湯島

●湯村温泉旅館料飲組合「七福神湯めぐり事務局」

問い合わせ
事務局/TEL0796 (92) 0800
〒669-6821 兵庫県美方郡温泉町湯1266-4